

平成 29 年度 南信教育事務所だより

教学半也

教うるは 学ぶの 半ばなり

目次

- ・平成 29 年度各教科等の指導・改善のポイント (P1~4)
- ・研修会報告 (P5~6)
- ・地域支援チームからのお知らせ (P7)

第 2 号 6 月 2 9 日 (木)

仙丈ヶ岳(南アルプス)

平成 29 年度 各教科等の指導・改善のポイント

各教科等の授業改善（授業の質的な向上）に生かしていただきたいポイントを示しました。

「平成 29 年度 教育課程編成・学習指導の基本」（通称「青本」）と合わせてご覧ください。

国語

追究の見通しがもてる学習課題の設定を

「青本」 P30~P31

Point 着目する言葉や追究方法を明確にした学習課題の設定を

学習問題を解決するために、モデルや既習事項等から「どの言葉に着目し、どのように考えればよいのか」を明確にして、追究の見通しがもてる学習課題を設定しましょう。

指導事項	学習問題 (例)	学習課題 (例)
小3 書くこと ウ	例を挙げて分かりやすく説明するには、どうやって書けばよいのだろう。	(モデルから) 組み立てをもとに、「例えば」を使って例を挙げて説明する文章を書こう。
小5 話すこと 聞くこと イ	意見がはっきり伝わるスピーチにするには、どんな構成にしたらよいのだろうか。	「初め」「中」「終わり」に話す材料カードを並べ替えながら、意見がはっきり伝わる構成を考えよう。
中1 読むこと ウ	〇〇の気持ちは冒頭と結末ではどのように変わったのか。	冒頭と結末の〇〇の描写や□□という情景描写に着目して、〇〇の気持ちの変化を読み取ろう。

例を挙げて説明すると内容が分かりやすくなるね。



「初め」にまず意見を、「中」でその理由を、「終わり」にもう一度意見を言うと、相手にはっきり伝わるね。



気持ちの変化は、言動だけでなく情景描写からも読み取れるね。



Point1 見とどけ時間確保のためのスムーズな追究場面へ

ねらいやつける力を明らかにし、単元や授業の終末で児童・生徒のねらいを達成した具体的な姿（振り返りに書いてほしい記述）を想定しましょう。

問題や課題解決のための見通しや予想の想定

発問の精選



個人追究では個々の考えを把握し、ねらいや課題に沿ったペアやグループ追究の視点を考え位置付けると子どもの振り返りがしやすいですね。

Point2 子どもの振り返り内容の充実

獲得した知識・技能とともに解決のために「何を」「どのように」用いたのか、の観点で記述できているかを確認しましょう。

振り返りの記述例
(小5同じものに目をつけて)

難しくて式がつけられなかったけれど、よく考えて答えが分かってうれしかったです。

難しくて式がつけられなかったけれど、線分図を2本縦に並べて、しかも左側をそろえてかいて考えたら関係が分かりました。式ができて答えが分かってうれしかったです。



右側の記述例には、何を、どのように用いたのか、どのように用いたのか記述してありますね。記述内容によって授業改善の視点にもなります。



Point1 ねらい（つける力）を吟味しましょう。

= まとめ
(学習問題に対して)

ねらい（つける力）を吟味し、単元や授業の終末で児童・生徒のねらいを達成した具体的な姿を明確にしましょう。
例) (中学校2年歴史) 江戸幕府は、それまでの時代に比べて様々なきまりを定めて大名を統制したり、貿易を統制したり、身分制度を厳しく定めたりして安定した政権を確立させた。

学習問題に対して、追究してきた視点を基にまとめるようにしましょう。

追 究

Point2 学習問題 ⇒ 学習課題 の過程を大切にしましょう。

ねらいに迫る学習問題を立てましょう。
例) 江戸幕府は、どうして260年も続く幕府を作ることができたのだろう。

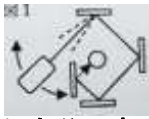
児童・生徒の予想を整理して、
例) 小学校で参勤交代や鎖国について学習したよ。関係しているかな。など

「何を、どのような視点で、どのように解決していくのか」を大切に追究の見通しを立てましょう。
例) 大名や農民、海外に対する政策について調べ、それらの政策を関連させて、どのように幕府の力を強めたのか考えよう。

理科 「体験」と「言語」で学びを深める学習に

「青本」 P36～P37

～事象への働きかけや観察、実験等と予想や考察・振り返り等で自分の考えをもった追究を～



光の反射にはどのようなきまりがあるだろうか？（中学校1年）

＜事象提示から自分の考えをもつ＞

レーザー光が4枚の鏡を通って的に当たる事象



Point 1
予想や意見交換（対話）の場を設け自分の考えを再検討

発問 どうしたらここへ一発で光を当てられる？

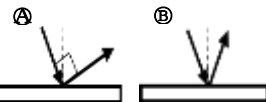
予想 どう反射するか分かればいい。反射角度決まっているはず。90°かな。

（図1を友と見合いながら）ほらここ直角。長さも同じ。やっぱり90°

対話 <友との関わりの中で追究の視点を明確にする>

教師の問い返し
「どこの角度のこと？」
視点の再検討への支援

友に説明（ホワイトボードで） → 入射角 30° 反射角は 60° (A)
友の意見 → 垂直に当てた光も 90° で反射？なさそうな気がする。



実験結果から → 垂直に当てても真っすぐ反射。90° ではない。
入射角 30° の光は 30° で反射する(B)。わかった。垂直に当てた鏡の光が、真横に行ったら自分の姿は見えないはずだよね。



Point 2
予想と照らし合わせて考えながら考察

<結果を振り返り、自分の言葉で考察する>

初めの予想は、「入射角 30° → 反射角 60° となり 90° で反射」(A) だったけれど、実験したらどちらも 30° だった。この結果から入射角が 30° なら反射角も 30° (B)で、入射角と反射角の大きさは同じ。

事象との出会い（体験）→予想や友との対話（言語）→目的意識をもった実験（体験）→自分の言葉で考察（言語）

体育・
保健体育

“動く → 考える → また動く”
ねらいの達成につながる「試行錯誤」を充実させるために

「青本」 P44～45

Point 1 子どもの気付きから問題解決の手がかりとなる「着目点」を学習課題に位置付ける。

学習問題
体が真っ直ぐに伸びた「側方倒立回転」を成功させるには？

倒立をする時と同じように
ずっとマットを見ている。



学習課題
「目線」と「足の振り上げ」に着目し、自分の課題に応じた練習の場を選んで練習しよう！

振り上げ足を勢いよく、真
っ直ぐ上に伸ばしている。

Point 2 動きのポイントを具体的につかめ、新たな気付きが促される場を工夫する。

例) <練習方法の工夫>から
「ゴムに足を引っかける」練習を試したら、振り上げ足を伸ばす感じがつかめてきたぞ。

例) <学習資料の提供>から
「お手本の動画」をもう一度見たら踏み出す足が真っ直ぐ前を向いていたぞ。

例) <見合い・伝え合う活動>から
Aさんが「もっとアゴを出して、しっかりマットを見た方がいい」と教えてくれたぞ。

よし！このことに気を付けて、もう1回やってみよう！



Point 3 自分(たち)の動きを客観的に見返すことができる方法を用意する。



腰の位置が高くなって、体が真っ直ぐに伸びてきたぞ！

例) ICT 機器を使って
(タイムシフト再生機能)

例) マットに目印を置いて
確かめ合う

自分ではいいと思ったけど、まだ真っ直ぐになってないな・・・。



ポイント ねらいや1時間の流れがわかるようにしましょう。

めあて

板書

Today's Goal : 旅行に必要なものを、みんなで楽しく買い物しよう。

1時間の見通し

大切にしたい姿

今日の活動でヒントになる絵・カード

Today's Menu

- ①あいさつ
- ②ウームアップ
- ③チャンツ
- ④買い物ゲーム
- ⑤振り返り

Today's Point

<共通>
色・商品・数 はっきり言う
<店員>
自分から話しかける
<お客>
買えるまで何度も挑戦



振り返りの場面で…

「自分から英語でたくさん話しかけたのでたくさん買ってもらえて楽しかった。」とか「買いたいものの英語を忘れてしまったら、A君が教えてくれてうれしかった。」など自分が積極的にコミュニケーションを図れるようになった理由などを Today's Point に沿って記述する時間を取り、全体で共有できるといいですね。

英語

生徒が「できるようになった」ことを実感するために

「青本」P50~51

ポイント

Today's Point の設定により、さらに具体的なゴールのイメージを持ちましょう。

Today's Goal : ALT の先生に、自分のお薦めの名所が伝わるような紹介文を書こう。



モデル文の中で、相手に薦めたいことが伝わる部分はどこですか？

紹介したい場所だけでなく、そこでできることが書いてある。

名前や場所だけではなく、なぜ名所なのかを書いてある。

名所→場所→できることという順番も伝わりやすいと思う。



板書

Today's Point ・具体的な内容（できること・理由）
・文の構成（名前→場所→具体的な内容）

Today's Point に沿って振り返りをしていくと…

「名前や場所だけでなく、なぜそこがお薦めなのかを書いたら ALT の先生が興味をもってくれた」とか「どういう順番で書くかで、伝わりやすさが違うと感じた」のように生徒たちが「どんなことに気を付ければ」「何ができるようになるか」の実感がもてるようになります。

研修会報告

今年度も、南信教育事務所では、各種研修会を開催していきます。
終了後、研修会での様子をお伝えしていきますので、参考にいただき、これからの研修会にも積極的にご参加いただきたいと思います。

初任者研修が始まりました

初任研スタート研修（4月18日）

（前略）周りの先生も同じ悩みを抱えていて、それぞれに大変な中、試行錯誤しながら頑張っていることがわかりました。またここから新たな気持ちで頑張ろうと思いました。（初任者の感想より）



グループ協議で、教師として2週間目の手応えや悩みを語り合う先生方。「そうそう、私も！」「実は、自分も同じで・・・」学校の様子や子どもたちの姿を基に語り合ううち、互いに共感し合い、自然に笑顔がこぼれました。そして、「一緒に頑張っていこう」そんな前向きな声のかけ合いが、どのグループからも聞こえてきました。

授業力向上研修Ⅰ（5月16日）

（前略）討議でも話題になった、丁寧で安心できる学びの場をつくる先生の配慮に、私も学級に戻って早速実践していきたいと感じました。授業の展開についても活動や振り返りに充てる時間が多く、日頃の授業を見直すきっかけとなりました。（初任者の感想より）



中洲小、永明中、宮田小、伊那東部中、松川中央小、緑ヶ丘中の6会場に分かれ、先輩の授業に学びました。

子どもの追究の姿を丁寧に観察し、授業記録を取った先生方。授業後の研究会では、それを授業者の先生の授業づくりや学級経営のよさと結びつけ、自らの学びとして語りました。

最後には、自分自身の授業の課題に照らして研修を振り返り、「明日の授業から取り組みたいこと」を具体的に確認していました。

第1回外国籍等児童生徒指導研修会（5月25日）

豊橋市教育委員会 築樋博子先生の講演から

児童生徒それぞれの日本語力の測定の仕方、個々の支援計画の立て方、具体的な指導方法と多岐にわたる内容をたくさんの資料とともにご紹介いただきました。

「日本語と国語の統合学習」プログラム【指導例】

リライトの方法

- ①段落構成はそのままにする。
- ②原文に合わせた文体にする。
（多くは敬体を使用する）
- ③単文を中心にする。複文は、単文二つに分け、簡単な接続詞でつなぐ。
- ④動作化や視覚化しやすい、やさしい言葉にする。
- ⑤受け身や使役表現は他の表現にかえるようにする。
- ⑥キーワード（ポイントになる語）は言い換えない。
- ⑦連体修飾は、二文に分けたり、表現を変えたり、省略したりする。
- ⑧慣用表現は残す。

資料紹介
リライト教材 自作

クラスの国語の学習に参加できるようになるための支援方法の一つを紹介していただきました。

日本語支援が必要な生徒に限らず他の生徒たちにとっても理解支援として大切な視点です。

「日本語と教科の統合学習」理解支援の例

- ・生徒の知っている言葉で言い換える。
- ・視覚化する。実物、模型、絵、写真、図などを利用する。
- ・具体的な例を出す、課題・手順など見通しを明確にする。
- ・いくつか分割したり、重要な点だけに絞ったりして簡略化する。 など

日本語教室がない学校にも日本語に苦慮している児童生徒がいることを前提にお話をいただきました。特に、教科を学びながら日本語を獲得していく JSL という指導方法は日本語力と他教科の学習の進捗について悩んでいる先生方にひとつの方向を示していただきました。

外国籍等児童生徒たちもこれからの日本の社会を担っていく大切な子どもたちであることを改めて感じた講演でした。



○第二回外国籍等児童生徒研修会のお知らせ ～ぜひご参加ください～

期 日：平成29年10月26日（木）

内 容（予定）：伊那北小学校の実践から具体的な指導方法を学ぶ

会場校：伊那市立伊那北小学校

※2学期になりましたら要項発送します。

いじめ・不登校地域支援チームからのお知らせ

○スクールソーシャルワーカー（SSW）が電話対応できる日

南信教育事務所 平日は原則毎日 10時から12時 電話 0265-76-6860
南信教育事務所飯田事務所 毎週火曜日 10時から12時 電話 0265-53-0461

○南信地区の保健福祉事務所開催の保健相談・思春期相談

<諏訪地区の方対象>

こころの健康相談

内 容 心の悩み、ひきこもり、発達障がい等について精神科医師による個別相談

場 所 諏訪合同庁舎2階 第2相談室

日 時 毎月 第1金曜日 午後2時から（5時相談終了） ※11月は第2金曜日

思春期相談（概ね25才まで）

内 容 学校に行けない、勉強に集中できない等について精神科医師による個別相談

場 所 諏訪合同庁舎2階 第2相談室

日 時 毎月 第4金曜日 午後2時から（5時相談終了） ※9月は第5金曜日

◎予約申し込み・問い合わせ先：諏訪保健福祉事務所 健康づくり支援課

相談は予約制です。前日までに申込みをしてください。電話 0266-57-2927

<上伊那地区の方対象>

精神保健相談（*思春期精神保健相談も含む）

対象及び内容 心の悩み・不登校・ひきこもり・家庭内暴力・依存症問題・認知症など、
精神面に関する不安等を持つ方やその家族 精神科医師による個別相談

場 所 伊那保健事務所 診察室

日 時 毎月 第3金曜日 午後2時から5時まで

◎予約申し込み・問い合わせ先：伊那保健福祉事務所 健康づくり支援課保健衛生係

電話 0265-76-6837

<下伊那地区の方対象>

児童思春期精神保健相談

対象及び内容 こころの問題を抱える児童思春期の子ども、その家族及び関係者
精神科医師による個別相談

場 所 飯田保健福祉事務所 診察室

日 時 奇数月 第2火曜日 午前（担当医の都合により変更する場合があります。）

◎予約申し込み・問い合わせ先：飯田保健福祉事務所 健康づくり支援課

電話 0265-53-0444